

2016年5月24日

Dolby Atmos[®]*1、DTS:X*2、ハイレゾ再生、4K映像対応
Wi-FiとBluetooth[®]も内蔵したネットワークAVレシーバー2機種を発売

ヤマハ AVレシーバー 『RX-V581』 『RX-V481』

ヤマハ株式会社は、Dolby Atmos[®]およびDTS:X(いずれもRX-V581のみ対応)、ハイレゾ再生、4K映像に対応したWi-Fi&Bluetooth[®]内蔵の7.1chネットワークAVレシーバー『RX-V581』と、5.1chネットワークAVレシーバー『RX-V481』の2機種を、それぞれ6月上旬より全国で発売いたします。

*1:Dolby Atmos[®](ドルビーアトモス)＝ドルビーラボラトリーズ社が開発した最新の3次元サラウンドフォーマット。(RX-V581のみ対応)

*2:DTS:X(ディーティーエス エックス)＝DTS社が開発した最新の3次元サラウンドフォーマット。(RX-V581のみ対応)

<価格と発売時期>

品名	モデル名	色	本体価格	当初月産予定台数	発売時期
AVレシーバー	RX-V581	(B)ブラック	72,000円(税抜)	10,000台	6月上旬
AVレシーバー	RX-V481	(B)ブラック	61,000円(税抜)	18,000台	6月上旬

<RX-V581 製品概要>

今回発売する『RX-V581』は、最新の3次元サラウンドフォーマットであるDolby Atmos[®]、およびDTS:Xに対応したWi-Fi&Bluetooth[®]内蔵7.1chネットワークAVレシーバーです。本製品には、次世代のUltra HD Blu-ray規格に規定されたHDR*1映像伝送やBT.2020*2映像伝送、最新の著作権保護技術であるHDCP2.2*3(全入出力)、4K/60p*4映像信号に対応したHDMI端子を装備しました。また、AVENTAGEシリーズと共通の高性能DSPデバイスを投入して臨場感と調整能力をさらに高めた独自の音場創生技術「シネマDSP」、フルディスクリート構成7chパワーアンプやロージッターPLL回路、ルビコン社との共同開発によるヤマハオリジナルPMLコンデンサー、新世代ヤマハオリジナル・ネットワークモジュールなどを採用した音質重視設計により、最新の4Kコンテンツからハイレゾ音源まで、豊かな臨場感と高音質で再現します。また、AAC対応Bluetooth[®]オーディオ機能とBluetooth[®]対応ミュージックエンハンサーの搭載により、お手持ちのスマートフォンやタブレットなどの音声を高音質でワイヤレス再生できます。

*1:HDR(ハイダイナミックレンジ)映像伝送＝従来より幅広い明暗のダイナミックレンジを持つ映像信号の伝送を可能にする技術のことで、4Kテレビや次世代のUltra HD Blu-ray、映像配信サービスなどでの導入が期待されています。 *2:BT.2020＝ITU-R勧告に定められたUltra HDTV(4K/8K)の色域規格。 *3:HDCP2.2＝4K映像伝送に対応した最新のデジタル著作権保護技術。 *4:4K/60p＝4K(4,096×2,160画素)の解像度を持つ映像を、1秒間に60コマで表示すること。



【RX-V581 主な特長】

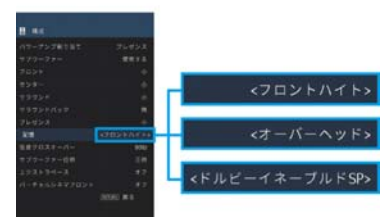
1. 最新の3次元サラウンドフォーマット「Dolby Atmos®」および「DTS:X」対応デコーダーを搭載
2. フルディスクリート構成パワーアンプをはじめとする音質重視設計と、独自の音場創生技術「シネマ DSP」による臨場感の追求
 - ・フルディスクリート構成 7ch パワーアンプ、ロージッターPLL 回路、オリジナル PML コンデンサーなどを採用した音質重視設計
 - ・AVENTAGE シリーズと共通の高性能 DSP デバイスを採用し、臨場感と調整能力をさらに高めた独自の音場創生技術「シネマ DSP」
 - ・YPAO の計測結果に基づいて音場効果を最適化する「DSP エフェクトノーマライゼーション」を装備
3. HDR、BT.2020、HDCP2.2、4K/60p 映像信号に対応した HDMI 端子
4. 新世代ヤマハオリジナル・ネットワークモジュールの搭載で高品位なハイレゾ再生を実現。Wi-Fi 接続も選択できるネットワーク再生機能
5. スマートフォンなどからの音声をワイヤレス再生したり、本機の音声を外部機器で再生できる Bluetooth®オーディオ機能を搭載。専用に開発したミュージックエンハンサーで高音質も実現
6. 専用アプリ「AV CONTROLLER」、高精細フォント採用の新 OSD、聴く楽しさを家中に広げる「MusicCast®」など多彩なユーティリティ機能



1. 最新の3次元サラウンドフォーマット「Dolby Atmos®」および「DTS:X」対応デコーダーを搭載

ドルビーラボラトリーズ社が開発した Dolby Atmos® (ドルビーアトモス) と DTS 社が開発した DTS:X (ディーティーエス エックス)、最新の3次元サラウンドフォーマットに対応したサラウンドデコーダーを搭載しました。個々の音を、頭上を含めた室内のどの位置にも定位または移動させ、3次元的な音響空間を簡単に創り上げることのできるこの技術への対応により、最新映画で話題のリアルな包囲感や移動感を家庭のシアタールームで楽しめます。5.1.2ch スピーカー構成に対応し、プレゼンスピーカーはフロントスピーカー上方壁に設置する「フロントハイト」、天井に設置する「オーバーヘッド」、「ドルビーイネーブルドスピーカー」(Dolby Atmos®専用)の3パターンから選択できます。また DTS:X 再生時には「DTS ダイアログコントロール*」でセリフ音量の単独調整も可能です。

*:本機能は DTS ダイアログコントロール対応の DTS:X コンテンツ再生時に限り有効です。



5.1.2ch スピーカー構成に対応した3パターンのプレゼンスピーカーが選べます。

2. フルディスクリート構成パワーアンプをはじめとする音質重視設計と、独自の音場創生技術「シネマ DSP」による臨場感の追求

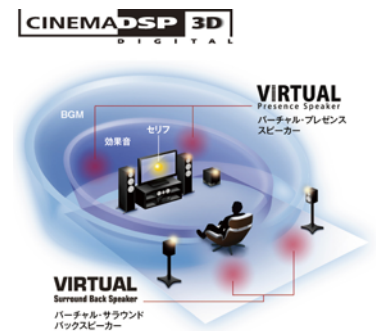
●フルディスクリート構成 7ch パワーアンプ、ロージッターPLL 回路、オリジナル PML コンデンサーなどを採用した音質重視設計
定格出力 115W/ch 全チャンネル同一仕様のフルディスクリート構成 7ch パワーアンプ、ルビコン社と共同開発したヤマハオリジナルの PML コンデンサー、バーブラウン 192kHz/24bit D/A コンバーターなどを採用し、あらゆるコンテンツを忠実に再現する音質重視設計を貫きました。また、外部デジタル入力に含まれるジッター成分を軽減して入力信号の精度を高めるロージッターPLL 回路も搭載しています。

●AVENTAGE シリーズと共通の高性能 DSP デバイスを採用し、

臨場感と調整能力をさらに高めた独自の音場創生技術「シネマ DSP」

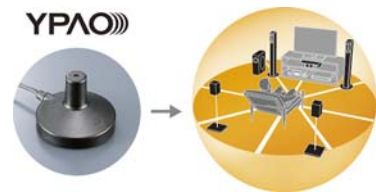
ヤマハ独自の音場創生技術「シネマ DSP」には、ハイグレード AV レシーバー「AVENTAGE」シリーズと共通の高性能 DSP デバイスを採用しました。「シネマ DSP」再生において立体的な臨場感の決め手となる仮想のプレゼンスピーカーをリスニング空間に生成する「バーチャル・プレゼンスピーカー」機能に加えて、セリフの位置(高さ)と音量を単独で調整できる「ダイアログリフト&レベル調整*」も新たに装備するなど、臨場感と調整能力をさらに高めています。加えて、内蔵パワーアンプの 2ch 分をフロントプレゼンスピーカーまたはサラウンドバックスピーカーに割り当てられるアサイン機能により、実物のプレゼンスピーカーを使用したリアルな「シネマ DSP (3D モード)」再生にも対応します。

*:本機能は DTS:X 再生時および Dolby Surround、Neural:X デコーダー選択時には動作しません。



●YPAO の計測結果に基づいて音場効果を最適化する「DSP エフェクトノーマライゼーション」を装備

付属のマイクを使って室内の音響特性を自動的に計測～補正する視聴環境最適化システム「YPAO」(Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)の搭載により、本機の高音質とシネマ DSP の臨場感を最大限に引き出します。さらに、「YPAO」の計測結果に基づいて音場効果を最適化する DSP エフェクトノーマライゼーションが、シアターサウンドをよりリアルに再現します。



3. HDR、BT.2020、HDCP2.2、4K/60p 映像信号に対応した HDMI 端子

最新の著作権保護技術 HDCP2.2、次世代の Ultra HD Blu-ray 規格に規定された HDR 映像伝送や BT.2020 映像伝送、4K/60p (YCbCr 4:4:4) 映像信号の伝送(パススルー)に対応した 4 入力/1 出力の HDMI 端子を装備しました。HDCP2.2 はすべての端子で対応し、4K 映像への対応力をさらに強化しています。また、テレビと本機とを HDMI ケーブル 1 本で接続できるオーディオリターンチャンネル (ARC)、主要メーカー製テレビ/レコーダーとのリンク機能*にも対応し、設置や操作も簡単に行えます。

*:HDMI によるリンク機能 (HDMI コントロール) は、本機～対応テレビ (レコーダー) 間を HDMI 接続した場合に実現するものです。対応テレビ機種などの詳細は当社製品サイトでご確認ください。

http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/connect/hdmi_cec/



4. 新世代ヤマハオリジナル・ネットワークモジュールの搭載で高品位なハイレゾ再生を実現。 Wi-Fi 接続も選択できるネットワーク再生機能

ネットワークオーディオ部は DSD5.6MHz、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生に対応しています。高精度ロージッタークロックの内蔵で S/N を向上させた新世代ヤマハオリジナル・ネットワークモジュールの搭載により高品位なハイレゾ再生が楽しめます。家庭内ネットワークへ無線接続できる Wi-Fi 機能 (IEEE802.11b/g/n 準拠) も内蔵し、ハイレゾ音源を含むネットワーク上の音楽コンテンツやインターネットラジオの再生、ヤマハ AV レシーバー用アプリケーション「AV CONTROLLER」(後述) でのワイヤレス操作などを有線ネットワーク接続なしで実現します。さらに、無線 LAN 環境のない場所でスマートフォン/タブレット内の音楽コンテンツをワイヤレス再生したり、「AV CONTROLLER」での操作などが手軽に行える「Wireless Direct」* も内蔵。いずれの接続方法でも、ネットワーク上の音楽コンテンツを再生する際に気になる曲間の音の途切れを解消するギャップレス再生に対応しています (DSD を除く)。

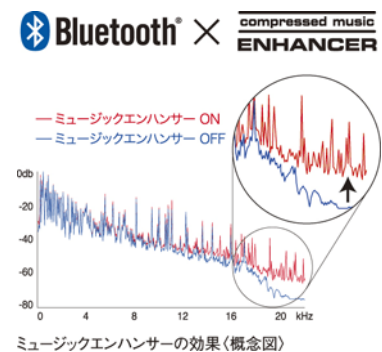
* : Wireless Direct を Wi-Fi または有線 LAN 接続と同時使用することはできません。



5. スマートフォンなどからの音声をワイヤレス再生したり、本機の音声を外部機器で再生できる Bluetooth®オーディオ機能を搭載。専用に開発したミュージックエンハンサーで高音質も実現

スマートフォンやタブレットなど、お手持ちの Bluetooth®対応機器の音声を本機でワイヤレス再生 (受信) したり、本機の音声* を Bluetooth®対応ヘッドホンやスピーカーなどで聴ける (送信)、Bluetooth®オーディオ機能を搭載しました。本機の Bluetooth®機能 (受信) は高音質の AAC フォーマットに対応し、さらに高音域の情報量や低音域の明瞭度が失われがちな圧縮音声を効果的に補正 (右図参照) する Bluetooth®対応ミュージックエンハンサーとも相まって、より奥行きのあるクリアな音質を実現しています。

* : AirPlay および DSD の音声は Bluetooth®送信できません。



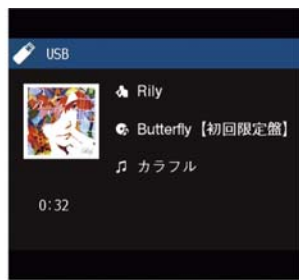
6. 専用アプリ「AV CONTROLLER」、高精細フォント採用の新 OSD、聴く楽しさを家中に広げる「MusicCast®」など多彩なユーティリティ機能

お手持ちのスマートフォンやタブレットで本機の基本操作や設定が快適に行えるヤマハ AV レシーバー用アプリ「AV CONTROLLER」、高精細フォントを採用し、音楽コンテンツの情報(曲名、アルバム名、アーティスト名の日本語表示およびアルバムアート表示)に対応した新デザインの多言語対応 OSD(オンスクリーン・ディスプレイ)、家庭内に設置した複数の MusicCast 対応音響機器(本機含む)の操作や機器間での音楽コンテンツの配信・共有・リンク再生などがひとつの専用アプリ*で行えるヤマハ独自の新機能「MusicCast®」(ミュージックキャスト)など、多彩なユーティリティ機能を装備しました。

*:「MusicCast CONTROLLER」(無償)



AV CONTROLLER 画面例
左：シネマ DSP 調整 / 右：ロータリー型音量調整



高精細フォントを採用した新デザインの
多言語対応 OSD(オンスクリーン・ディスプレイ)



ワイヤレスネットワークの新機能「MusicCast」

【RX-V481 主な特長】

1. フルディスプレイ構成パワーアンプをはじめとする音質重視設計と、独自の音場創生技術「シネマ DSP」による臨場感の追求

- ・フルディスプレイ構成 5ch パワーアンプ、ロージッター PLL 回路、バーブラウン 192kHz/24bit D/A コンバーターなどを採用した音質重視設計
- ・仮想のプレゼンスピーカーをリスニング空間に生成するバーチャル・プレゼンスピーカー機能を装備した独自の音場創生技術「シネマ DSP」
- ・YPAO の計測結果に基づいて音場効果を最適化する「DSP エフェクトノーマライゼーション」を装備
- ・センターに定位する中音域を強調してセリフなどを聴き取りやすくする 3 段階可変のダイアログレベル調整

2. HDR、BT.2020、HDCP2.2、4K/60p 映像信号に対応した HDMI 端子(4 入力/1 出力)

3. 新世代ヤマハオリジナル・ネットワークモジュールの搭載で高品位なハイレゾ再生を実現。Wi-Fi 接続も選択できるネットワーク再生機能

4. スマートフォンなどからの音声をワイヤレス再生したり、本機の音声を外部機器で再生できる Bluetooth®オーディオ機能を搭載。専用開発したミュージックエンハンサーで高音質も実現

5. メイン(フロント)スピーカーのさらなる音質改善が期待できるフロントバイアンプ対応*

* サラウンド(リア)スピーカー/ゾーン B スピーカーとの選択式となり、2.0~3.1ch スピーカー構成時に有効です。

6. 専用アプリ「AV CONTROLLER」、高精細フォント採用の新 OSD、聴く楽しさを家中に広げる「MusicCast®」など多彩なユーティリティ機能

【RX-V581/RX-V481 その他の特長・機能】 ●メインスピーカーにコンパクトスピーカーを使用する場合やサブウーファーなしのシステムでも力強く躍動感のある低音を再現する Extra Bass (エクストラベース) ●サラウンドスピーカーをフロント側に配置し、臨場感あふれるサラウンド再生を省スペースで味わえるバーチャルシネマフロント ●再生音量に応じて DSP 効果を自動調整し、常に最適な臨場感が得られる A-DSP 技術 ●入力ソースやボリューム位置に合わせてダイナミックレンジを自動調整し、小音量再生時にも明瞭なサウンドが楽しめる A-DRC 技術 ●FM 補完放送も受信できる 40 局プリセット対応ワイド FM/AM チューナー ●お気に入りのインターネットラジオ局をストレスなく呼び出せるブックマーク & オートプレイに対応したインターネットラジオ機能 ●使用頻度の高いボタンをより大きくし、使いやすいボタン配列にもこだわったワイヤレスリモコンを付属 ●よく使う映像ソースや音場プログラムの組み合わせを呼び出したり、テレビやレコーダーを連動して起動できる SCENE ボタン ●キッチンや寝室など、別室に置いたスピーカーで音楽などを楽しめるゾーン B 対応スピーカー端子 ●本機の配線・設定作業をサポートする専用アプリケーション「AV SETUP GUIDE」(タブレット専用)対応 ●ECO モード、オートスタンバイ機能などにより業界最高水準の省電力を実現

<RX-V581/V481 主な仕様>

型番		RX-V581	RX-V481
定格出力	20Hz-20kHz、2ch 駆動	80W/ch (6Ω、0.09%THD)	80W/ch (6Ω、0.09%THD)
	1kHz、1ch 駆動	115W/ch (6Ω、0.9%THD)	115W/ch (6Ω、0.9%THD)
実用最大出力 (JEITA)	1kHz、1ch 駆動	135W/ch (6Ω、10%THD)	135W/ch (6Ω、10%THD)
内蔵パワーアンプ数		7	5
音声入力	アナログ	4 系統:ステレオ RCA 3、ステレオミニ 1	
	デジタル	3 系統:光 1、同軸 2	
音声入力(その他)		3 系統:USB 1、ネットワーク(Ethernet)1、ネットワーク(Wireless)1	
映像入力		4 系統:コンポジット 4	
音声出力	スピーカー出力	7ch (フロントL/R、センター、サラウンドL/R、サラウンドバックL/R[フロントプレゼンス、Bi-AMP、ZoneB 兼用])	5ch (フロントL/R、センター、サラウンドL/R[Bi-AMP、ZoneB 兼用])
	PRE OUT	サブウーファー (MONO) × 2	サブウーファー (MONO) × 1
	その他出力	1 系統:ヘッドフォン 1	
モニター出力端子	MONITOR OUT	1 系統:コンポジット 1	
HDMI 入力		4 (HDCP2.2 に対応)	
HDMI 出力		1 (HDCP2.2 に対応)	
HDMI パススルー		4K/60p、HDR、BT.2020 伝送対応	
ネットワーク関連機能	Wi-Fi/Wireless Direct	○(IEEE802.11b/g/n 準拠)/○	
	DLNA1.5 対応	○	
	対応音声フォーマット (USB、サーバー)	DSD 5.6Mz、Apple Lossless 96kHz/24bit、MPEG4-AAC、WAV/FLAC/AIFF 192kHz/24bit、MP3、WMA	
	ギャップレス再生	○(WAV/FLAC/Apple Lossless/AIFF に対応)	
	AirPlay/ミュージックプレイ	○/○	
	インターネットラジオ	○(vTuner)	
Bluetooth®再生方式	バージョン	Ver.2.1+EDR	
	対応プロファイル	受信時:A2DP/AVRCP、送信時:A2DP	
	対応コーデック	受信時:SBC/AAC、送信時:SBC	
	ワイヤレス出力	Bluetooth Class2	
	最大通信距離	10m(障害物のない見通し距離)	
総サラウンドプログラム数		34(シネマ DSP プログラム数は 17)	33(シネマ DSP プログラム数は 17)
消費電力		260W	
待機時消費電力	HDMI コントロール OFF/ スタンバイスルーOFF 時	0.1W	
	HDMI コントロール ON/ スタンバイスルーON 時	0.9W	0.9W
	ネットワークスタンバイ ON 時	Wired:スタンバイスルーOFF 時 1.8W/ スタンバイスルーON 時 2.3W Wi-Fi:スタンバイスルーOFF 時 1.9W/ スタンバイスルーON 時 2.4W Wireless Direct:スタンバイスルーOFF 時 2.0W/ スタンバイスルーON 時 2.4W	Wired:スタンバイスルーOFF 時 1.8W/ スタンバイスルーON 時 2.3W Wi-Fi:スタンバイスルーOFF 時 1.9W/ スタンバイスルーON 時 2.4W Wireless Direct:スタンバイスルーOFF 時 2.0W/ スタンバイスルーON 時 2.4W
	Bluetooth®スタンバイ ON 時	スタンバイスルーOFF 時 1.8W/ スタンバイスルーON 時 2.4W	スタンバイスルーOFF 時 1.8W/ スタンバイスルーON 時 2.4W
寸法(幅×高さ×奥行)		435W×161H×327D mm (Wi-Fi アンテナ直立時:435W×225.5H×327D mm)	435W×161H×327D mm (Wi-Fi アンテナ直立時:435W×225.5H×327D mm)
質量		8.1kg	
付属品		リモコン、単 4 乾電池(2 本)、AM アンテナ、FM アンテナ、YPAO 用マイク、取扱説明書、セットアップガイド	



ヤマハ AVレシーバー『RX-V581』 カラー:(B)ブラック
本体価格 72,000 円(税抜)



アンテナは設置環境に応じて
角度を変えることができます。

※RX-V581(B)の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。
http://jp.yamaha.com/news_release/

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー『RX-V581』 http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-v581_black_j/



ヤマハ AVレシーバー『RX-V481』 カラー:(B)ブラック

本体価格 61,000 円(税抜)

※RX-V481(B)の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。

http://jp.yamaha.com/news_release/

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー『RX-V481』 http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-v481_black_j/

この件に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先

広報部 宣伝・ブランドマネジメントグループ

窪井、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト http://jp.yamaha.com/news_release/

(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部

お客様コミュニケーションセンター

オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL 0570-011-808 (ナビダイヤル:全国どこからでも市内通話料金)

TEL 053-460-3409 (上記番号でつながらない場合)